



ルフトハンザ、12月1日よりミュンヘン=羽田路線にA350-900就航



※参考画像1 A350-900機内

ルフトハンザ ドイツ航空（以下、「ルフトハンザ」）は、12月1日（日本発着12月2日）よりミュンヘン=羽田線においてエアバス A350-900 型機の運航を開始いたします。A350-900 型機のエコノミークラスは青を基調としたグラデーションでまとめられ、心地よいフライト空間を演出しています。A350 のエコノミークラスは、その快適な旅行環境が高く評価され、ドイツ・デザイン賞 2018 において最優秀プロダクトデザイン賞を受賞。同エコノミークラスのデザインはロンドンに拠点を置くデザイン集団「ピアソン・ロイド」が手掛けており、人間工学に基づき設計された座席と、より広い収納スペースを備えています。

ドイチェルフトハンザ AG（以下、「ルフトハンザグループ」）のルフトハンザ ハブ ミュンヘン CEO を務めるヴィルケン・ボルマンは次のように述べています。

「ルフトハンザをご利用のお客様には、世界最先端の長距離路線用機材で快適な空の旅をお楽しみいただけます。A350-900 型機は世界で最も優れた旅客機であると同時に、燃料効率も良く、快適なキャビン環境も実現しました。ドイツ・デザイン賞を受賞したことがその証です」

ルフトハンザグループの日本・韓国支社長ドナルド・ブンケンブルクは次のように述べています。

「ルフトハンザの新しい最新鋭の航空機 A350-900 は、ご搭乗のお客様の快適さと環境の両方に対する強いコミットメントの現れです。他の同等の航空機と比較して燃料消費、排出ガス、騒音が極めて低い航空機です。A350-900 を含む当社の最高の航空機の導入には、日本市場に寄せるわたしたちの意志が込められています」

A350 の羽田就航と時期を同じくして、ルフトハンザは今週初めから新たに A350-900 型機、登録記号「D-AIXF」の運航を開始しました。これによりミュンヘン空港に配置された A350-900 は最大で6機となりました。同型機は東京をはじめ北京、香港、ボストン、デリー、ムンバイを結びます。A350-900 の座席はビジネスクラス 48 席、プレミアムエコノミー 21 席、エコノミークラス 224 席の計 293 席で構成されています。世界最新鋭でありながら、環境に優しい同機材はジェット燃料（ケロシン）の消費量を 25%、二酸化炭素排出量を 25%削減。離陸時の騒音も大幅に離陸時の騒音も大幅に低減しています。ルフト

ハンザはこの最新鋭の機材を 25 機発注しています。



※参考画像 2 A350-900 機体

ルフトハンザ グループ 概要

ルフトハンザ グループは、540 社を超える子会社・関連会社からなる航空グループです。ルフトハンザ グループは品質と革新性、安全性、確実性、そしてイノベーションに力を注いでいます。グループの拠点はドイツにあり、旅客運送（旅客航空会社グループ）、物流、整備・修理（MRO）、ケータリング、IT サービスの 5 事業部門で構成されています。グループの中核事業である旅客運送事業を担うのはルフトハンザドイツ航空、オーストリア航空、スイス インターナショナル エアラインズ、ユーロウィングスです。旅客航空会社グループは現在、308 都市に就航。2016 年度の搭乗者数は合計 1 億 900 万人を突破しました。グループは現在、およそ 617 機の機材を保有しており、2025 年までに 205 機が納入される予定です。機材リニューアルに向けて現在進めている投資を通じ、ルフトハンザグループは機材をより採算性の高いものにするとともに、より環境に配慮した運航を行うための取り組みを一貫して進めています。2016 年 3 月末の時点で、ルフトハンザ グループの従業員は約 12 万 4,000 人。2016 年の売上高は 317 億ユーロでした。詳細情報は www.lufthansagroup.com でご覧いただけます。

——本件に関するお問い合わせ先——

ルフトハンザ ドイツ航空 PR担当（井之上パブリックリレーションズ内）

担当：妹尾、トムセーン、小笠原、横田

TEL：03-5269-2301 FAX：03-5269-2305 Email：lufthansa@inoue-pr.com